

評価年度 の 主な 取組	1 埼玉県赤十字血液センターと連携し、安定的な集団献血の確保を図った。
	2 献血実績 (1)献血協力団体 9団体 (2)献血実施回数 11回 (3)献血者数 400cc 254人 200cc 32人

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律に基づき、献血についての啓発や献血が円滑に実施するための措置を講じる。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律に基づき、市民に対して積極的に献血の協力を呼びかけるとい、市町村の役割があり妥当である。				
業 評 価	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	<p>▲活動 ●成果</p>
		活動指標	108.00% ★★★★★ 達成された	② 採血者数 (増加目標指標)	71.20% ★★★★ 達成度がやや低い	85.60% ★★★★★ 概ね達成された	
	成果指標	88.30% ★★★★★ 概ね達成された	① 達成率 (増加目標指標)	55.60% ★★★★ 達成度がやや低い	58.10% ★★★★ 達成度がやや低い		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	全国的に献血者の確保が厳しくなる状況下で、採血者と協力して献血者の確保を図っていくことで、より成果が得られる。上位施策との関連はない。				
	上位施策への貢献度	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					
効 率 性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度	<p>変動率</p>	
		182.88% 増加している 1,211.52 円	採血者数 活動指標を単位として換算 単位: 円/人 受益者負担の余地はない。	149.40% 増加している 1,017.90 円	65.08% 減少している 662.47 円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改 革 改 善	これまでの改革・改善内容	献血の円滑な供給体制の確立を図る目的で昭和46年6月15日に設置した吉川市献血推進協議会について、設置目的である献血に関する市民の理解や協力企業が確立され、献血供給体制が整備されたことから、事業を担当課で所管することが可能となったため、平成24年3月31日をもって同協議会を廃止した。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	高齢化に伴う医療ニーズの増加や高度医療による血液製剤の使用の増加、少子化による献血者の減少が予想されるため、継続的に献血の協力を呼びかけていく	

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	互英久	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

Table with project details: 事務事業名 (Bone marrow donor support), 所管部署名 (Health Longevity Dept), 事前評価日 (Nov 30, 2020), 事業区分 (Autonomous), 実施計画の位置付け (Not applicable), 対象 (Healthy donors), 手段 (7-day limit, 20,000 yen support).

Table with financial breakdown: 区分 (A: Total costs, B: Specific resources, C: Subsidy), 令和2年度 (Budget: 280,000, Actual: 0), 令和3年度 (Budget: 140,000, Actual: 0), 令和4年度 (Budget: 140,000, Actual: 0).

Table with performance indicators: 指標名 (Bone marrow donor registration), 単位 (Person/Return), 実績値 (Actual values), 計画(見込)値 (Target/Forecast values).

評価年度の主な取組	骨髄バンクドナー登録の啓発 1 広報誌・ホームページ掲載 2 ポスター掲示 3 保健センターで冊子を配架 4 成人式で啓発用冊子を配布
-----------	---------------------------------------------------------------------------------

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	骨髄ドナー登録を推進させるため、ドナー休暇がない骨髄提供者に対する助成を市が行う。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	98.75% ★★★★ 概ね達成された	① 骨髄バンクドナー登録者数 (増加目標指標)	101.33% ★★★★★ 達成された	102.26% ★★★★★ 達成された	
	成果指標	0% ★ 達成度がかなり低い	① 骨髄提供者数 (増加目標指標)	100.00% ★★★★★ 達成された	0% ★ 達成度がかなり低い		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	骨髄バンク登録者数を増やしていくことで成果向上の余地はある。上位施策との関連はない。				
	上位施策への貢献度	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					
価効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度	変動率	
		評価不可	骨髄バンクドナー登録者数 活動指標を単位として換算 単位：円/人 受益者負担の余地はない。	59.44% 減少している 715.99円	減少している		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	骨髄バンクのしくみを啓発するために、成人式において、冊子を配布した。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 少子高齢化が進むことでドナー登録数が減少していくことが予想される。	機会(プラス要素) ドナー登録できる年齢は54歳以下であり、ドナー休暇の無いドナーへの助成は登録者への支援となる。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	助成金の交付は、骨髄・末梢血幹細胞移植の推進及びドナー登録の推進を図るための一助となっている。ドナー登録者が増え、骨髄移植が推進されれば、病気を克服する人が増加し幸福度が高められる。	

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	互英久	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

基 本 本 事 項	事務事業名	救急医療体制整備事業			所管部署名	健康長寿部 健康増進課 健康づくり支援係			
	事業期間	平成14年度 ~ 未設定	事業年齢	18歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	小林 以津己	
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	救急医療対策実施要領			
	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり(健康福祉部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務			
	施策	第7節 地域医療体制の充実			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度			
	施策小項目	(2)救急医療体制の充実			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
	実施計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			予 算 科 目	会計区分	一般会計		
	市まち・ひと・しごと 創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				款 項	衛生費	保健衛生費	
	個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			目 細目	予防費	救急医療体制整備事業		
	目的	対象 (誰を、何を)	一般市民			手 段 (どのよう な 事業を行うのか)	休日在宅当番医診療事業、小児時間外(初期救急)診療、東部南地区第二次救急(一般・小児)事業について、医師会関係市町と日程調整を行う。休日当番医報償を実施医療機関に支払う。		
	対象年齢	00	99	全年齢					
意図 (対象にどのような状態になってほしいのか)	市民が休日や夜間において急病時に診療を受けることができるようになる。								
類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			業務プロセス (No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	30610201	休日当番医実施委託業務		
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			403103		30610202	小児時間外(初期救急)診療業務実施委託業務		

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
A トータル コスト	① 事業費	28,239	27,653	20,591	20,536	△ 7,117	20,658	28,723
	② 人件費	1,320	1,160	1,185	454	△ 706	454	454
	正職員投入人員	0.17人	0.15人	0.15人	0.06人	△ 0.09人	0.06人	0.06人
	正職員人件費	1,320	1,160	1,185	454	△ 706	454	454
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	29,559	28,813	21,776	20,990	△ 7,823	21,112	29,177	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
⑨ その他	7,437	7,321		32	△ 7,289		7,321	
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	22,122	21,492	21,776	20,958	△ 534	21,112	21,856
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独			

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	① 全市民	人	73,706	74,484	74,771	73,514	73,756
	住基人口		72,877	73,014	73,217		
活 動 指 標	① 休日当番医診療実施回数	回	73	76	72	72	72
	休日当番医で診療を実施した回数		73	76	72		
	② 小児時間外(初期救急)診療実施回数	回	241	237	241	241	242
	小児時間外(初期救急)で診療を実施した回数		243	236	240		
成 果 指 標	① 休日当番医救急受診者数	人	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	休日当番医に救急で受診した人数		1,694	1,250	775		
	② 小児時間外(初期救急)受診者数(吉川市民)	人	470	470	470	470	470
	小児時間外(初期救急)に受診した人数		373	332	160		

評価年度の主な取組	第一次救急医療体制(休日在宅当番医制、小児時間外(初期救急)診療)、第二次救急医療体制(一般・小児)の整備・運営により休日や夜間に急病やけがで診療が必要になったときに安心して診療が受けられる体制を整えている。
	救急医療体制整備事業実績 1 休日在宅当番医制事業 日曜・休日利用者 673人 年末・年始利用者 102人 2 年末年始等歯科当番医制事業 利用者 17人 3 小児時間外(初期救急)運営事業(1市1町) 240日(月～金曜日) うち吉川市内医療機関 176日 4 病院群輪番制病院運営事業(6市1町) 夜間356日、休日昼間72日 5 小児救急医療支援事業 夜間365日、休日昼間72日

事業区分	評価結果		判断理由(特記事項)				
	妥当性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	市民の安心・安全を確保するため、全市民を対象に休日や夜間救急の急病に対する診療を医師会等の協力により、確保することは妥当である。			
意図		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
役割分担(行政関与)		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	休日や夜間の急病に対する診療により、市民の安心安全を確保できるため、市で事業を行うことは妥当である。				
有効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	100.41% ★★★★★ 達成された	② 小児時間外(初期救急)診療実施回数 (ゼロ値目標指標)	99.17% ★★★★★ 概ね達成された	100.42% ★★★★★ 達成された	
	成果指標	165.96% ★★★★★ 達成された	② 小児時間外(初期救急)受診者数(吉川市民) (ゼロ値目標指標)	120.64% ★★★★★ 達成された	129.36% ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	休日や夜間の急病に対する診療体制が確保されることにより、誰もが適切な医療を受けられる環境を整備することにつながり上位施策への貢献度が高い。				
効率性	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		151.17% 増加している 131,190.29 円	小児時間外(初期救急)受診者数(吉川市民) 成果指標を単位として換算 単位: 円/人	42.58% 減少している 79,246.91 円	109.51% 若干増加している 86,785.98 円		
コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	救急医療制度は休日や夜間の急病やけがの診療を行う制度のため、市民の安心安全の見地から、なくてはならない制度であり、利用者の数によって制度の継続や意義を図ることは適切ではない。また、受診者は診療報酬点数に基づき、医療費を支払っているため、受益者負担の見直しの余地はない。					
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	令和元年度に第2次救急医療(埼玉県東部南地区)の病院が1カ所減となり、病院群輪番制病院が15医療機関、小児救急医療輪番制病院が6医療機関(うち2医療機関休止中)となった。
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 東南部地域は小児救急医療輪番制病院が4医療機関で対応している。 機会(プラス要素) 初期救急、2次救急、高度医療など適切に受診することにより、入院や手術を必要とする重症救急患者及び小児の重症救急患者に対応する診療体制の確保につながる。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	地域医療体制が整うことにより、市民の安心安全が確保され市民満足度が向上する。

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	互英久	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

基 本 本 事 項	事務事業名	健康・体づくりポイント制度事業			所管部署名	健康長寿部 健康増進課 健康づくり支援係			
	事業期間	平成27年度 ~ 未設定	事業年齢	5歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	小林 以津己	
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	なし			
	基との計画関係	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり(健康福祉部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		
		施策	第5節 生涯を通じた健康づくりの推進			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度		
		施策小項目	(3)生活習慣病予防の推進			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
		実施計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			予 算 科 目	会計区分	一般会計	
		市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				款 項	衛生費	保健衛生費
		個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			目 細目	予防費	健康・体づくりポイント制度事業	
		目的	対象(誰を、何を)	18歳以上の市民		手 段 (どのような事業を行うのか)	健(検)診及び健康・スポーツ・介護予防事業の参加や主体的に体づくり・健康づくりを実施した市民にポイントを付与し、一定のポイントが貯まった方に景品を贈呈することで、市民が自主的に楽しみながら健康・体づくりに取り組んでいただく事業。		
		対象年齢	18	99	18歳以上				
	意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	市民が生涯にわたり心身ともに健康でいきいきと生活できる。市民一人ひとりが健康に対する意識を持ち、自主的に健康づくりや体づくりに取り組むことができる。							
	類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			業務プロセス(No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	30530701	健康・体づくりポイント制度事業	
	前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			403104				

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
投 入 コ ス ト	① 事業費	722	724	662	591	△ 134	422	422
	② 人件費	777	928	948	454	△ 474	454	454
	正職員投入人員	0.10人	0.12人	0.12人	0.06人	△ 0.06人	0.06人	0.06人
	正職員人件費	777	928	948	454	△ 474	454	454
	会計年度任用職員人件費					0		
	③ 間接経費(加算)					0		
	④ コスト対象外(除外)					0		
	⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	1,498	1,652	1,610	1,045	△ 607	876	876
資 源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
	⑨ その他					0		
	⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0		
	受益者負担率(⑩÷⑤)							
C	吉川市年間負担経費(A-B)	1,498	1,652	1,610	1,045	△ 607	876	876
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独			

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	① 18歳以上の市民	人	59,985	60,414	60,590	60,835	61,139
	18歳以上の市民人口		59,875	60,229	60,532		
活 動 指 標	① 事業参加者数	人	550	500	550	550	550
	この事業で5ポイント貯め、景品を交換した人数		436	529	219		
成 果 指 標	① 事業参加率	%	0.91	0.83	0.90	0.90	0.90
	事業参加者数/18歳以上の市民 × 100		0.73	0.88	0.36		

評価年度の主な取組	1 実施期間 令和2年5月7日から令和3年3月31日
	2 周知方法 広報、ホームページ、保健カレンダー掲載、公共施設等にチラシ・ポイントカード配架 集団検診や各種イベントでPR
	3 実績 参加者数(5ポイント獲得者数) 219人

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	市民一人ひとりが健康・体力づくりに取り組み、生活習慣病を予防することで、市民の健康保持や健康寿命の延伸につながっていくことから、妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					市民の健康づくりに関与するものであり、市が行う事業である。
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	39.82% ★★ 達成度が低い	① 事業参加者数 (増加目標指標)	79.27% ★★★★ 達成度がやや低い	105.80% ★★★★★ 達成された	
	成果指標	40.00% ★★ 達成度が低い	① 事業参加率 (増加目標指標)	80.22% ★★★★ 概ね達成された	106.02% ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	第5次総合振興計画で「生涯を通じた健康づくりの推進」が掲げられており、上位施策への貢献度は高い。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		152.76% 増加している 4,771.46 円	事業参加者数 活動指標を単位として換算 単位: 円/人 参加者数が増えることでコスト改善の余地はある。 受益者負担の余地はない。	78.88% 減少している 3,436.31 円	90.90% 若干減少している 3,123.50 円		
	コスト改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	参加者の増加を図るため、景品の種類を拡大した。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) コロナ禍で、健診の受診を控える人がいる。	機会(プラス要素) 事業が5年目になり、リピーターが定着している。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	健康づくりを主体的に取り組み、健康寿命を延ばすことにより、市民一人ひとりの生活の質の向上や幸福度を高められる。	

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	互英久	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

評価年度の主な取組	1 コバトン健康マイレージ			
	(1)概要:歩数計又はスマートフォンで歩数を計測し、歩数等に応じポイントが付与され、一定のポイントが貯まると自動的に年4回の抽選会に参加できる。			
	(2)参加者数(累計)	歩数計	スマートフォン	計
	520人	278人	798人	
新型コロナウイルスの影響から、産直ウォーキング、ウォーキングリーダー養成講座は開催せず。				

事業区分	評価結果		判断理由(特記事項)				
	妥当性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	幅広い市民が参加できるように、ポイントの付与や直売所を巡るなどの楽しみをプラスしたウォーキング事業を行うとともに、広くウォーキングの習慣を根付かせるため、リーダーの養成や定期通信を行っており、妥当である。			
意図		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
役割分担(行政関与)		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	評価不可	① 産直ウォーキング参加者数 (増加目標指標)	88.33% ★★★★★ 概ね達成された	106.00% ★★★★★ 達成された	
	成果指標	319.20% ★★★★★ 達成された	① コバトン健康マイレージ事業参加者数 (増加目標指標)	62.50% ★★★ 達成度がやや低い	98.00% ★★★★★ 概ね達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	市民が自主的に健康づくりに取り組むことにより、健康寿命を延ばすことにつながり、市民一人ひとりの生活の質の向上や幸福度を高められる。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
価効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度	変動率	
		16.12% 減少している 2,015.60 円	コバトン健康マイレージ事業参加者数 成果指標を単位として換算 単位: 円/人	41,490.85 円	30.13% 減少している 12,500.07 円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	令和元年度から、吉川市国保加入者及び後期高齢者の歩数計(健康マイレージ事業)の助成を行う。 コスト改善の余地はない。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	令和元年度から、吉川市国保加入者及び後期高齢者は、歩数計の費用の助成を行った。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 新型コロナウイルスの影響から、イベント事業(産直ウォーキング、ウォーキングリーダー養成講座)は一時休止。	機会(プラス要素) イベント事業はできなかったが、マイレージ事業はロコミでひろがり、参加者が増加している。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	健康づくりを主体的に取り組み、健康寿命を延ばすことにより、市民一人ひとりの生活の質の向上や幸福度を高められる。	

事業(一次)方向性	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	新型コロナウイルスの影響から、イベント事業(産直ウォーキング、ウォーキングリーダー養成講座)は一時休止。コバトン健康マイレージは、参加者を増加させていく。			
一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	互英久		

二次評価	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説明	新型コロナウイルスの影響から、イベント事業(産直ウォーキング、ウォーキングリーダー養成講座)は一時休止。			
二次評価日	令和3年6月23日				

基 本 本 事 項	事務事業名	保健センター管理運営事業			所管部署名	健康長寿部 健康増進課 健康づくり支援係		
	事業期間	昭和63年度 ~ 未設定	事業年齢	32歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	小林 以津己
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	吉川市保健センター条例、吉川市保健センター管理規則		
	まちづくり目標	第6章 まちづくりの推進のために(行政運営)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		
	施策	第6節 公有財産の適正管理			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度		
	施策小項目	(1)公有財産の適正管理			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
	実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			予 算 科 目	会計区分	一般会計	
	市まち・ひと・しごと 創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				款 項	衛生費	保健衛生費
	個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			目 細目	保健センター費	保健センター管理運営事業	
	目的	対象 (誰を、何を)	保健センター建物および施設			手 段 (どのよう な事業を行 うのか)	建物の管理及び保守点検を行う。	
	対象年齢	-	-					
意 図 (対象にどの ような状態に なってほしい のか)	保健センターの維持管理を行うことにより、市民が安全に満足して保健センターを利用することができる。							
類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			業務プロセス (No.・名称)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			403106				

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
A トータル コスト	① 事業費	11,225	11,359	15,809	15,570	4,211	8,463	8,963
	② 人件費	2,019	2,321	2,370	2,575	255	2,575	2,575
	正職員投入人員	0.26人	0.30人	0.30人	0.34人	0.04人	0.34人	0.34人
	正職員人件費	2,019	2,321	2,370	2,575	255	2,575	2,575
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)	156				0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	13,400	13,680	18,179	18,145	4,466	11,038	11,538	
B 特定財 源	⑥ 国庫支出金			6,017	6,903	6,903		
	国補助率			1	1			
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
⑨ その他	620	185	7	3	△ 182	3	3	
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	12,780	13,495	12,155	11,239	△ 2,255	11,035	11,535
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独			

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	① 全市民	人	73,706	74,484	74,771	73,514	73,756
	総人口		72,877	73,014	73,217		
活 動 指 標	① 外部委託で点検した回数	回	25	25	25	25	25
	業者による貯水槽・EV・空調・自動ドア・消防設備の点検回数		25	25	25		
	② 職員が点検した回数	回	4	4	4	4	4
	職員による外壁点検回数		4	4	4		
成 果 指 標	① 修繕・改修を行った箇所	箇所	2	2	2	2	2
	修繕・改修を行った箇所		9	8	4		
②							

評価年度 の 主 な 取 組	市民が安全に保健センターを利用できるよう機能を維持するための施設管理・修繕等を実施した。	
	1 施設維持管理業務委託	
	主な内容	金額
	空調機保守点検業務委託	734,800
	エレベーター保守点検業務委託	469,920
	保健センター電話設備保守点検業務委託	132,000
	自動ドア保守点検管理業務委託	227,700
	自家用電気工作物保安管理業務委託	217,800
	消防設備等保守点検業務委託	154,000
	受水槽清掃業務委託	42,900
清掃業務委託	2,310,000	
事業系ごみ収集処理業務委託	89,364	
2 修繕		
主な内容	金額	
女子トイレ排水管修繕	28,600	
視覚障害者誘導用ブロック修繕	24,200	
洗濯機水道栓修繕	3,140	
街灯修繕	20,240	
手洗器水栓交換修繕	176,000	
トイレ洋式化修繕	6,363,500	

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	建物の管理及び保守点検を行うことは、利用者の安全を確保するものであり、妥当である。 昭和63年の竣工から相当期間経過し、設備等に老朽化がみられるので、計画的に修繕、改修を行うことにより、利用者の安全を確保でき建物を維持することができるので妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	100.00% ★★★★★ 達成された	① 外部委託で点検した回数 (増加目標指標)	100.00% ★★★★★ 達成された	100.00% ★★★★★ 達成された	
	成果指標	200.00% ★★★★★ 達成された	① 修繕・改修を行った箇所 (増加目標指標)	450.00% ★★★★★ 達成された	400.00% ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	適正な施設管理を行っている。 上位施策への貢献度はない。				
	上位施策への貢献度	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					
価効性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		265.29% 増加している 4,536,315.50 円	修繕・改修を行った箇所 成果指標を単位として換算 単位：円/箇所 計画的な修繕により、光熱水費の節約やコストを削減することができる。 保健センターの維持管理であるため、受益者負担の余地はない。	96.75% 若干減少している 1,488,890.22 円	114.85% 増加している 1,709,951.88 円		
	コスト改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	光熱水費の節約により経費の削減を図っている。空調設備については、事務室で温度設定を集中管理しており、適正な運転を実施している。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
		築30年以上であり、建物の老朽化や劣化による修繕箇所が多くなる	定期的な保守点検やこまめな修繕により施設の維持がはかれる。
行財政改革大綱との関連(点検・確認)	劣化状況調査や劣化度評価を実施し、施設の維持管理を行っていく。		

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	互英久	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

基 本 本 事 項	事務事業名	健康増進事業			所管部署名	健康長寿部 健康増進課 健康増進係		
	事業期間	昭和58年度 ~ 未設定	事業年齢	37歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	小林 以津己
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	健康増進法		
	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり(健康福祉部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		
	施策	第5節 生涯を通じた健康づくりの推進			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度		
	施策小項目	(3)生活習慣病予防の推進			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
	実施計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			予 算 科 目	会計区分	一般会計	
	市まち・ひと・しごと 創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				款 項	衛生費	保健衛生費
	個別計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 健康増進計画			目 細目	予防費	健康増進事業	
	目的	対象 (誰を、何を)	18歳以上の市民			手 段 (どのよう な 事業を行うのか)	健康増進計画に基づき、がん検診及び生活習慣病予防健診と保健指導を実施する。	
	対象年齢	18	99	18歳以上				
意 図 (対象にどの ような状態に なってほしい のか)	がん検診の必要性を理解し、がん検診を受け、早期発見・早期治療に繋がり、早世を予防できる。 生活習慣病予防健診を受け、健診結果と生活習慣を結び付け適切な習慣を実践することで、健康を維持・増進できる。							
類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			業務プロセス (No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	30520301	集団健康診査	
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 403201							

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
A トータル コスト	① 事業費	74,698	78,177	63,954	62,993	△ 15,184	81,061	75,164
	② 人件費	27,103	20,885	22,333	27,133	6,248	31,672	31,672
	正職員投入人員	3.49人	2.70人	2.70人	3.45人	0.75人	3.45人	3.45人
	正職員人件費	27,103	20,885	21,327	26,130	5,246	26,130	26,130
	会計年度任用職員人件費			1,006	1,002	1,002	5,542	5,542
③ 間接経費(加算)	746	739	703	708	△ 31	683	683	
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	102,547	99,801	86,990	90,834	△ 8,967	113,416	107,519	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金	257	300	5,440	5,450	5,150	219	219
	国補助率	1/2	1/2	1	1		1/2	1/2
	⑦ 県支出金	1,977	2,159	1,804	1,219	△ 940	1,510	1,510
	県補助率	2/3	2/3	2/3	2/3		2/3	2/3
	⑧ 市債					0		
	⑨ その他	14	267	148	77	△ 190	148	148
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)	3,425	3,808	3,535	2,983	△ 825	3,809	3,809	
受益者負担率(⑩÷⑤)	3.34%	3.82%	4.06%	3.28%		3.36%	3.54%	
C	吉川市年間負担経費(A-B)	96,874	93,267	76,063	81,105	△ 12,162	107,730	101,833
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input type="checkbox"/> 吉川市単独			

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	① 大腸がん検診対象者数	人	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
	がん検診精度管理事業による算出方法(40歳から69歳まで)		9,447	9,339	9,042		
活 動 指 標	① 健診(検診)普及啓発事業	件	15	15	15	15	15
	ポスター掲示、広報掲載、クーポン送付など		15	15	15		
	② 生活習慣病予防健診受診者数	人	270	220	230	230	230
	生活習慣病予防健診受診者数		201	232	147		
成 果 指 標	③ 大腸がん検診受診者数	人	1,500	1,200	1,300	1,300	1,300
	40歳から69歳までの受診者数		948	925	719		
成 果 指 標	① 大腸がん検診受診率	%	15	12	13	13	13
	40歳から69歳までの受診者数/対象指標①*100		10	10	8		
②							

評価年度の主な取組	1 がん検診、生活習慣病予防健診実績			
		平成30年	令和元年	令和2年
	胃がん検診	2,330	2,441	1,809
	大腸がん検診	2,609	2,700	2,245
	肺がん検診	2,298	2,117	1,847
	乳がん検診	969	1,206	965
	子宮がん検診	1,026	1,103	629
	生活習慣病予防健診	201	232	147
2 普及啓発				
(1) 広報、ホームページ掲載				
(2) 「保健事業のご案内」の全戸配布				
(3) 無料クーポン券の個別通知				
(4) 受診勧奨ハガキ送付				

事業	区分		評価結果	判断理由(特記事項)			
	事業性	対象・手段		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	生活習慣病予防健診は、健康増進法及び市の介護福祉総合条例に基づき実施している。がん検診については、国で示された「がん予防重点教育及びがん検診実施のための指針」に基づき実施している。		
意図			<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討				
役割分担(行政関与)			<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	がんの早期発見・早期治療や生活習慣病予防を市民が主体的に取り組めるよう支援する。			
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	55.31% ★★★★ 達成度がやや低い	③ 大腸がん検診受診者数 (増加目標指標)	63.20% ★★★★ 達成度がやや低い	77.08% ★★★★ 達成度がやや低い	
	成果指標	60.77% ★★★★ 達成度がやや低い	① 大腸がん検診受診率 (増加目標指標)	66.87% ★★★★ 達成度がやや低い	82.50% ★★★★ 概ね達成された		
	成果向上の余地		<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	第5次総合振興計画や第2次健康増進計画における「健康づくりの推進」としての貢献度は高い。健診受診により、生活習慣病の早期発見・早期介入(保健指導)し、生活習慣病の重症化を予防するため、検診受診率を向上させることは、成果向上につながる。			
価効率性	上位施策への貢献度		<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし				
	単当たりコスト変動率	令和2年度	117.09% 増加している 126,334.07 円	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度	
		変動率	126,334.07 円	大腸がん検診受診者数 活動指標を単位として換算 単位：円/人	112.07% 増加している 108,172.18 円	99.74% ほぼ変動していない 107,892.82 円	
コスト改善の余地		<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	検診委託料は、保険点数に基づいて算定している。保険点数の改定にともない、医師会と協議をすすめていく。健診の個人負担金の設定は、委託料のおよそ3割程度に設定している。				
改革改善	これまでの改革・改善内容	がん検診精度管理向上のため、平成30年度から医療機関用チェックリストの実施を開始した。令和2年度から乳がん視触診と子宮体がん検診を廃止、胃内視鏡検診の事前肝炎検査の対象者を明確にし、がん検診の指針に基づく検診に近づくように改善している。					
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、市民ががん検診の受診を避けている可能性がある。			機会(プラス要素)	肺がん検診、乳がん検診についても個別検診で実施することにより、利便性が向上し、受診率の増加も望める。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	がんの早期発見・早期治療や生活習慣病予防の取組を行うことにより、健康寿命の延伸につながり、市民一人ひとりの生活の質の向上や幸福度を高められる。					

事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	互 英久		

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
二次評価日	令和3年6月23日				

基 本 本 事 項	事務事業名	8020推進事業			所管部署名	健康長寿部 健康増進課 健康増進係			
	事業期間	平成4年度 ~ 未設定	事業年齢	28歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	小林 以津己	
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	健康増進法			
	基との計画関係	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり(健康福祉部門)		事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務			
		施策	第5節 生涯を通じた健康づくりの推進		事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度			
		施策小項目	(5)歯科口腔保健の推進		直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
		実施計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			予算科目	会計区分	一般会計	
		市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		款	項	衛生費	保健衛生費	
		個別計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 歯科口腔保健推進計画			目	細目	予防費	8020推進事業
		目的	対象(誰を、何を)	市民		手段 (どのような事業を行うのか)	歯周疾患検診及び歯科保健指導を行う。		
		対象年齢	00	99	全年齢				
	意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	口腔衛生の知識を持ち、むし歯や歯周病の予防に努めることができる。							
	類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			業務プロセス(No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	30620201	8024よい歯のコンクール表彰事業	
	前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 403202					30620203	歯周疾患検診	

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
A トータル コスト	① 事業費	750	744	788	719	△ 26	784	913
	② 人件費	621	387	395	227	△ 160	227	227
	正職員投入人員	0.08人	0.05人	0.05人	0.03人	△ 0.02人	0.03人	0.03人
	正職員人件費	621	387	395	227	△ 160	227	227
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)		1,371	1,131	1,183	946	△ 185	1,011	1,140
B 特定財源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	1,371	1,131	1,183	946	△ 185	1,011	1,140
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独			

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	① 歯周疾患検診受診枠	人	480	450	450	450	450
	② 歯周疾患検診受付可能人数		480	450	450		
活 動 指 標	① 歯周疾患検診受診者数	人	408	315	315	315	315
	② 歯周疾患検診を受けた人数		301	289	124		
	③						
成 果 指 標	① 歯周疾患検診利用率(稼働率)	%	85	70	70	70	70
	② 受診者/受診枠*100		63	64	28		

評価年度の主な取組	1 歯周疾患検診と歯科保健指導を行うことにより、歯周病の予防や早期発見及び早期治療につながることができ、歯科保健に対する意識の向上を図る。
	2 「8024よい歯のコンクール」を開催。 R2年度は新型コロナウイルス感染症の感染予防のため表彰式は開催せず、賞状と記念品を表彰者宅へ訪問して渡した。 吉川市長賞(80歳以上で自分の歯が24本以上ある人) 15人 吉川歯科医師会長賞(80歳以上で、自分の歯が20～23本ある人) 3人

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	歯周疾患検診は健康増進法に基づき、市の保健事業として実施している。歯周疾患検診を受け、歯周病やむし歯の早期発見・早期治療につながることや、市民にむし歯予防や歯科保健に関する正しい情報を提供するため必要があるため妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	歯周疾患検診は健康増進法に基づき、市の保健事業として実施している。				
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	39.37% ★★ 達成度が低い	① 歯周疾患検診受診者数 (増加目標指標)	73.77% ★★★★ 達成度がやや低い	91.75% ★★★★★ 概ね達成された	
	成果指標	39.29% ★★ 達成度が低い	① 歯周疾患検診利用率(稼働率) (増加目標指標)	73.78% ★★★★ 達成度がやや低い	91.74% ★★★★★ 概ね達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	歯周疾患検診を実施し、歯周病を予防することで、成果向上の余地はある。歯科口腔保健事業は、自分の歯でしっかり咀嚼し栄養をとりいれることができ、健康づくりを推進するため、上位施策への貢献度は高い。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
価効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		194.89% 増加している 7,626.81円	歯周疾患検診受診者数 活動指標を単位として換算 単位:円/人 歯周疾患検診は集団健康診査と同日実施しているため、コスト面は抑えられている。	69.98% 減少している 4,554.94円	85.92% 減少している 3,913.45円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	歯周疾患検診は集団健康診査と同時に実施することで、利便性に配慮している。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 歯科医院に予防的に受診する人は少ない。痛みがある等でないを受診が後回しになりやすい。	機会(プラス要素) 市内に歯科医院が多い。定期的に口腔内のメンテナンスを行いやすい。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	歯科口腔保健事業を推進することにより、自分の歯でしっかり咀嚼し栄養をとりいれることができ、市民一人ひとりの生活の質の向上や幸福度を高められる。	

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	小林 以津己	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

基 本 本 事 項	事務事業名	特定保健指導事業			所管部署名	健康長寿部 健康増進課 健康増進係		
	事業期間	平成20年度 ~ 未設定	事業年齢	12歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	小林 以津己
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律		
	基との計画関係	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり(健康福祉部門)		事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		
	実施計画の位置付け	施策	第5節 生涯を通じた健康づくりの推進		事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度		
	市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	施策小項目	(3)生活習慣病予防の推進		直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
	個別計画の位置付け	予算科目	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 健康増進計画		会計区分	一般会計		
	目的	対象(誰を、何を)	吉川市国民健康保険被保険者の受診者のうち、特定保健指導の対象者になった者		款	衛生費		保健衛生費
	的	意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	対象年齢	40 74 40歳以上74歳以下	目	目細目		予防費
	類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			執行方法	直営		
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 403203			業務プロセス(No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 30520601 特定保健指導			

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)	
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)			
A トータル コスト	① 事業費	6,413	6,258	0	0	△ 6,258	0	0	
	② 人件費	12,814	16,011	23,590	18,334	2,323	18,831	18,831	
	正職員投入人員	1.65人	2.07人	2.07人	1.47人	△ 0.60人	1.47人	1.47人	
	正職員人件費	12,814	16,011	16,351	11,134	△ 4,878	11,134	11,134	
	会計年度任用職員人件費			7,239	7,201	7,201	7,697	7,697	
③ 間接経費(加算)						0			
④ コスト対象外(除外)						0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)		19,227	22,269	23,590	18,334	△ 3,935	18,831	18,831	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金						0		
	国補助率								
	⑦ 県支出金						0		
	県補助率								
	⑧ 市債						0		
⑨ その他		16	16	18	19	3	19	19	
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)							0		
受益者負担率(⑩÷⑤)									
C	吉川市年間負担経費(A-B)	19,211	22,253	23,572	18,315	△ 3,938	18,812	18,812	
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独				

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	① 特定保健指導対象者	人	548	537	523	507	489
	② 健診の結果で、動機づけ支援・積極的支援等になった者の数		627	658	544		
活 動 指 標	① 初回特定保健指導実施者数	人	373	366	356	345	333
	② 初回特定保健指導実施者数		382	429	294		
	② 職員学習会の開催回数	回	12	9	12	12	12
	保健師・管理栄養士(特定保健指導員)による学習会開催回数		12	12	12		
成 果 指 標	① 初回特定保健指導実施率	%	68	68	68	68	68
	② 初回特定保健指導実施者数/保健指導対象者数*100		61	65	54		
	② 特定保健指導実施率(法定報告指導終了者)	%	48	50	53	55	58
	③ 特定保健指導実施者数/保健指導対象者数*100		56	60	未		

生活習慣病を予防するため、特定健診の結果を階層化し、積極的支援及び動機づけ支援に該当する人に対し、保健活動を行っている。

	積極的支援	動機づけ	合計
保健指導対象者	146	398	544
初回保健指導実施者	84	210	294
初回保健指導実施率	57.50%	52.80%	54.00%

令和3年3月末現在(暫定)

事業	区分		評価結果	判断理由(特記事項)			
	業	妥当性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	高齢者の医療の確保に関する法律で定められている。特定保健指導は国保年金課から事業の執行委任を受け、健康増進課の事務分掌の中に位置づけ実施しており、妥当である。		
		意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討				
		役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討				
業	有効性	目標達成度	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		種別	令和2年度	平成30年度	令和元年度		
	活動指標	82.58% ★★★★ 概ね達成された	① 初回特定保健指導実施者数 (増加目標指標)	102.41% ★★★★★ 達成された	117.21% ★★★★★ 達成された		
	成果指標	79.41% ★★★ 達成度がやや低い	① 初回特定保健指導実施率 (増加目標指標)	89.56% ★★★★ 概ね達成された	95.88% ★★★★ 概ね達成された		
業	評価性	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	保健指導の力量を上げ、取り組むことにより、健診受診者の生活習慣病予防につながる。			
		上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし				
業	効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度	
		コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	平成30年度	令和元年度		
		変動率	120.14% 増加している 62,361.97 円	初回特定保健指導実施者数 活動指標を単位として換算 単位: 円/人	113.37% 増加している 50,331.62 円	103.14% 若干増加している 51,909.60 円	
業	効率性	受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	保健指導員の費用以外の特定保健指導に係る事業費は、国保年金課で予算化している。特定保健指導の実施率を上げ、生活習慣病の予防に重点を置き、重症化させないようにしていくことが大切である。より多くの人に保健指導を行うため、受益者からの負担を求める余地はない。			

改革	これまでの改革・改善内容	平成25年度から集団結果説明会を開催している。平成29年度から集団健診会場で保健指導の必要性を説明している。また特定保健指導評価時に、健康測定会(血圧、体組成、尿検査、味噌汁塩分濃度測定)を実施。参加できない人にはアンケートの返送を求めている。平成30年度から健康測定会で運動実技を実施した。				
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リスク(マイナス要素)</th> <th>機会(プラス要素)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新たな生活様式では、集団での結果説明会や、健診会場内での説明等は適さない。動画や掲示物等による周知方法等の工夫を要する。</td> <td>特定健診受診率、特定保健指導率ともに、全国的に伸びてきており、保健指導を受けることが当然という環境に近づいている。</td> </tr> </tbody> </table>	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)	新たな生活様式では、集団での結果説明会や、健診会場内での説明等は適さない。動画や掲示物等による周知方法等の工夫を要する。	特定健診受診率、特定保健指導率ともに、全国的に伸びてきており、保健指導を受けることが当然という環境に近づいている。
	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)				
新たな生活様式では、集団での結果説明会や、健診会場内での説明等は適さない。動画や掲示物等による周知方法等の工夫を要する。	特定健診受診率、特定保健指導率ともに、全国的に伸びてきており、保健指導を受けることが当然という環境に近づいている。					
行財政改革大綱との関連(点検・確認)	保健指導を受け、健康づくりを主体的に取り組み、健康寿命を延ばすことにより、市民一人ひとりの生活の質の向上や幸福度を高められる。					

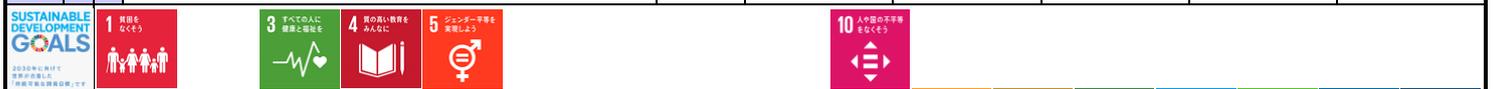
事業(一次評価)	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	互英久		

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
二次評価日	令和3年6月23日				

Table with project details: 母子保健事業, 健康長寿部 健康増進課 母子保健係, 令和2年11月30日, 事前評価責任者 小林 以津己, 昭和40年度 ~ 未設定, 事業年齢 55歳, 母子保健法, 法定受託事務, 自治事務, 毎年度繰り返し, 単年度, 複数年度, 直接事業費 有, 無, 一般会計, 衛生費, 保健衛生費, 母子衛生費, 母子保健事業, 執行方法 一部委託, 吉川松伏医師会 妊婦健康診査受託医療機関, 対象 新生児、乳幼児、妊婦、産婦, 対象年齢 00 99 全年齢, 業務プロセス (No.・名称) 有 無, 30620509 妊産婦・新生児(未熟児を含む)訪問, 30520501 母子健康手帳の交付

Table with financial data: 区分, 区分, 平成30年度 決算(千円), 令和元年度 決算(千円), 令和2年度 予算(千円), 令和2年度 決算(千円), 増減額(千円), 令和3年度 当初(千円), 令和4年度 計画(千円). Includes rows for A (事業費, 人件費), B (国庫支出金, 県支出金, 市債, その他), C (吉川市年間負担経費), D (補助・単独区分).

Table with performance indicators: 区分, 指標名 (上段), 単位, 平成30年度 目標(見込)値, 令和元年度 目標(見込)値, 令和2年度 目標(見込)値, 令和3年度 計画(見込)値, 令和4年度 計画(見込)値. Includes rows for 妊娠届出数, 出生数, パパママ学級開催回数, 乳幼児相談実施回数, パパママ学級参加人数, 乳幼児相談利用人数.



評価年度 の 主 な 取 組	1 母子保健法に基づき、乳幼児健診、乳幼児健康相談やその後のフォロー事業、電話、訪問を実施。 2 妊婦健康診査、不妊治療、不妊検査、不育症検査の費用を助成。							
	事業内容		実績(人)		事業内容		実績(人)	
	妊娠届出数		554		子育てグループ育成		延べ123組	
	パパママ学級		延べ125		乳幼児リハビリ		延べ43人	
	新生児・妊婦・乳幼児訪問		510		オリオン教室		延べ96人	
	乳幼児健康相談		延べ149		フッ化物歯面塗布		143人	
	発育発達相談		延べ184		にこにこ歯磨き教室		0人	
	4か月児健診		587		不妊治療等助成事業		実績(件)	
	7か月児相談		374		不妊検査費助成		24	
	1歳8か月児健康診査		604		不育症検査費助成		1	
3歳4か月児健康診査		593		不妊治療費助成		13		
				妊婦健康診査		実績(人)		
				1回目 助成券		553		
				2回目		554		
				3回目		553		
				4回目		554		
				5回目		541		
				6~14回目		3598		
				妊婦健康診査		実績(人)		
				HBs抗原検査		553		
				HCV抗体検査		552		
				HIV抗体検査		552		
				子宮頸がん検査		540		
				GBS検査		550		
				HTL-1抗体検査		554		
				クラミジア検査		540		
				超音波検査		2092		

事業	区分		評価結果		判断理由(特記事項)				
	当	対象・手段		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	<input type="checkbox"/> 要検討	妊娠前から子育て期にわたり切れ目なく、対象者全員に対し、その個別性に応じた支援を行うことで、安心して妊娠・出産・育児ができ、母子の健康保持及び増進につながる。保護者が自ら進んで正しい理解を深め、健康保持増進に向けた行動ができるよう、随時検討しながら事業内容を組み立てていく。			
意図			<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	<input type="checkbox"/> 要検討					
役割分担(行政関与)			<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	<input type="checkbox"/> 要検討					
業	有効性	種別	令和2年度		評価指標(指標性質)		平成30年度	令和元年度	
		目標達成度	活動指標	66.67% ★★★ 達成度がやや低い	② 乳幼児相談実施回数 (増加目標指標)	100.00% ★★★★★ 達成された	55.00% ★★★ 達成度がやや低い		
	成果指標	24.83% ★ 達成度がかなり低い	② 乳幼児相談利用人数 (増加目標指標)	81.56% ★★★★★ 概ね達成された	74.75% ★★★ 達成度がやや低い				
	成果向上の余地		<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし	妊婦健診による母体・胎児の健康管理に始まり、妊婦教育や健診、相談事業等を通じ、発育発達確認や育児支援を行うことができるため、上位施策への貢献度は高い。				
	上位施策への貢献度		<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし					
価	効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度		単位当たりコスト換算指標		平成30年度	令和元年度	
		コスト改善の余地	437.77% 増加している	822,911.66 円	乳幼児相談利用人数 成果指標を単位として換算 単位：円/人	108.59% 若干増加している	124.25% 増加している		
	受益者負担適正化の余地		<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし	妊婦健診は集合契約で行われ、乳幼児健診は集団実施にて受益者負担はないことから、コスト改善の余地はない。				
変動率									

改 革 改 善	これまでの改革・改善内容	妊娠・子育て期の相談ニーズに応じ、父親も参加しやすい設定や、栄養に重点を置いた内容を盛り込むなど、効果的な実施に向けた改善に留意し事業を継続している。今年度は感染症の流行が生じ、事業を中止せざるを得ない状況となった期間があったが、会場の工夫や参加体制の変更などにより、内容を凝縮して再開を図ることができた。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	母子保健サービスの向上に伴う事務量の増加に対し、関係機関や他職種と連携のもと、専門支援を効率的に行う体制の充実を図る。	

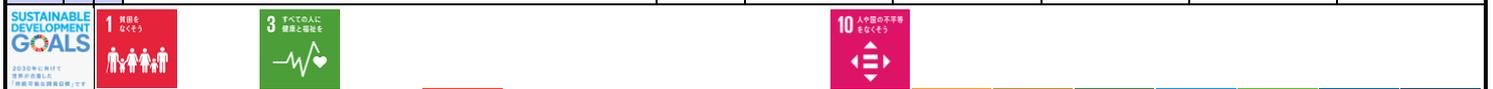
事業(一次)の 方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)		<input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化	
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	引き続き感染症予防対策に留意の上、母子保健活動を推進する。			
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	互 英久	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)		<input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化	
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

基 本 本 事 項	事務事業名	予防接種事業			所管部署名	健康長寿部 健康増進課 母子保健係			
	事業期間	昭和56年度 ~ 未設定	事業年齢	39歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	小林 以津己	
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	予防接種法			
	基との計画関係	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり(健康福祉部門)			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 自治事務		
		施策	第5節 生涯を通じた健康づくりの推進			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度		
		施策小項目	(4)感染症予防の推進			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
		実施計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			予 算 科 目	会計区分	一般会計	
		市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				款 項	衛生費	保健衛生費
		個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			目 細目	予防費	予防接種事業	
		目的	対象(誰を、何を)	乳幼児、児童、生徒等や65歳以上の高齢者			手 段 (どのよう な事業を行 うのか)	執行方法	一部委託 吉川松伏医師会
		対象年齢	00	99	全年齢				
	意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	予防接種を実施することにより感染症を予防する。			予防接種法に定められた定期予防接種を医療機関で接種する。				
	類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			業務プロセス(No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	30520101	個別乳幼児予防接種	
	前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無					30520102	高齢者インフルエンザ予防接種	

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
A トータル コスト	① 事業費	239,495	231,849	287,056	282,058	50,209	277,527	277,527
	② 人件費	5,436	5,569	8,030	7,686	2,117	8,323	8,323
	正職員投入人員	0.70人	0.72人	0.72人	0.76人	0.04人	0.76人	0.76人
	正職員人件費	5,436	5,569	5,687	5,756	187	5,756	5,756
	会計年度任用職員人件費			2,343	1,930	1,930	2,567	2,567
③ 間接経費(加算)	1,492	1,478	1,406	1,416	△ 62	1,366	1,366	
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	246,423	238,896	296,492	291,160	52,264	287,216	287,216	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金	697	3,172	17,948	21,730	18,558	2,397	2,397
	国補助率	1/2	1/2	1	1		1/2	1/2
	⑦ 県支出金	5,412	5,458	5,471	17,383	11,925	5,525	5,525
	県補助率	3/4	3/4	3/4	3/4		3/4	3/4
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
	受益者負担率(⑩÷⑤)							
C	吉川市年間負担経費(A-B)	240,314	230,266	273,073	252,047	21,781	279,294	279,294
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり					<input type="checkbox"/> 吉川市単独	

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	① 乳幼児、児童、生徒等の定期予防接種対象者	人	19,000	16,600	16,800	15,000	15,000
	乳幼児、児童、生徒等の定期予防接種対象延べ人数		17,151	16,394	13,038		
	② 高齢者肺炎球菌の定期予防接種対象者	人	4,000	4,000	4,200	2,500	2,500
	高齢者肺炎球菌の定期予防接種対象者数		3,844	2,297	2,304		
活 動 指 標	① 乳幼児、児童、生徒等の接種者数	人	17,100	16,400	16,600	14,000	14,000
	乳幼児、児童、生徒等の定期予防接種を受けた延べ人数		16,351	15,201	13,007		
	② 高齢者肺炎球菌の接種者数	人	2,000	1,800	600	600	600
	高齢者肺炎球菌の定期予防接種を受けた人		1,683	555	611		
成 果 指 標	① 乳幼児、児童、生徒等の予防接種率	%	90	95	95	95	95
	接種者数/対象者数 × 100		95	93	99		
	② 高齢者肺炎球菌の接種率	%	50	50	50	25	25
	接種者数/対象者数 × 100		44	24	27		



評価年度の主な取組	定期予防接種は、個別通知で接種勧奨することにより、乳幼児、学童、生徒、高齢者の感染症予防を図っている。			
	定期予防接種の種類		接種者数(人)	
	ロタウイルス	508		
	BCG	605		
	四種混合(ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ)	2493		
	麻しん風しん1期	629		
	麻しん風しん2期	634		
	風しん5期	144		
	水痘	1256		
	B型肝炎	1811		
定期予防接種の種類		接種者数(人)		
日本脳炎1期	2011			
日本脳炎1期不足	117			
日本脳炎2期	996			
二種混合(破傷風・ジフテリア)	670			
子宮頸がん	63			
ヒブ	2483			
小児肺炎球菌	2448			
高齢者肺炎球菌	611			

区分		評価結果	判断理由(特記事項)			
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	予防接種法に基づく対象者に、個別接種勧奨のもと実施している。 接種向上により、感染症による重症化を防ぐことができ、市民の健康に繋がるものである。			
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討				
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討				
事業効果	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度
		活動指標	78.36% ★★★★ 達成度がやや低い	① 乳幼児、児童、生徒等の接種者数 (増加目標指標)	95.62% ★★★★ 概ね達成された	92.69% ★★★★ 概ね達成された
	成果指標	54.00% ★★★★ 達成度がやや低い	② 高齢者肺炎球菌の接種率 (増加目標指標)	87.60% ★★★★ 概ね達成された	48.32% ★★ 達成度が低い	
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	②の高齢者肺炎球菌予防ワクチンについては「B類疾病」に分類され、個人予防に重点がおかれており接種の努力義務はないが、「A類疾病」である①乳幼児～生徒等の定期予防接種については、接種率向上による成果向上が期待できる。感染症による重症化を防ぐことができ、市民の健康につながるため、上位施策への貢献度は高い。			
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし				
事業効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度	
		142.44% 増加している 22,384.87 円	乳幼児、児童、生徒等の接種者数 活動指標を単位として換算 単位：円/人 15,070.83 円	101.26% 若干増加している 15,715.82 円	104.28% 若干増加している 15,715.82 円	
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	A類疾病に規定されている予防接種の自己負担は徴収していない。予防接種に係る費用は、地方交付税に算入されている。			
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					

改革改善	これまでの改革・改善内容	窓口や電話での市民対応時は、複数の職員の確認により接種について説明したり、予防接種スケジュールについてわかりやすい資料等媒体の提供を図るなど、適性な接種に向けて取り組んでいる。 また、感染症流行期にあっても、予防接種を遅らせることのないよう啓発している。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	通知や接種記録など事務量の多い事業であり、システム活用など事務の効率化を図っていく。	

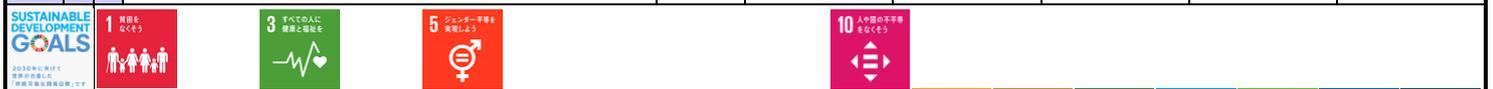
事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)		<input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化	
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	臨時接種についても円滑な実施を図る。			
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	互英久	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)		<input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化	
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

基 本 本 事 項	事務事業名	乳児家庭全戸訪問事業			所管部署名	健康長寿部 健康増進課 母子保健係			
	事業期間	平成27年度 ~ 未設定	事業年齢	5歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	小林 以津己	
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	児童福祉法			
	基との計画関係	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり(健康福祉部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		
		施策	第2節 未来を育む児童福祉の推進			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度		
		施策小項目	(2)子どもの健やかな成長の支援			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
		実施計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			予算科目	会計区分	一般会計	
		市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 基本目標1『子どもの笑顔と活気でまちを満たす』			款	項	衛生費 保健衛生費	
		個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			目	細目	母子衛生費 乳児家庭全戸訪問事業	
		目的	対象(誰を、何を)	生後4か月を迎えるまでの、すべての乳児のいる家庭			手段(どのような事業を行うのか)	母子保健支援員が、生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、育児に関する不安や悩みの傾聴、相談、子育て支援に関する情報提供等を実施する。	
		対象年齢	00	99	全年齢				
	意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	子育ての不安や悩みが解消され、子育ての孤立化を防ぐことができる。							
	類似事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 母子保健事業			業務プロセス(No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 30520509 妊産婦・新生児訪問(未熟児含む)			
	前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 403303							

区分	区分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
A トータル コスト	① 事業費	3,247	3,753	1,715	1,000	△ 2,753	189	189
	② 人件費	233	155	3,681	3,814	3,659	4,047	4,047
	正職員投入人員	0.03人	0.02人	0.02人	0.04人	0.02人	0.04人	0.04人
	正職員人件費	233	155	158	303	148	303	303
	会計年度任用職員人件費			3,523	3,511	3,511	3,744	3,744
③ 間接経費(加算)						0		
④ コスト対象外(除外)						0		
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)		3,480	3,908	5,396	4,814	906	4,236	4,236
B 特定財源	⑥ 国庫支出金	1,498	1,437	1,338	1,838	401	1,301	1,301
	国補助率	1/3	1/3	1/3	1/3		1/3	1/3
	⑦ 県支出金	1,498	1,251	1,338	1,283	32	1,301	1,301
	県補助率	1/3	1/3	1/3	1/3		1/3	1/3
	⑧ 市債						0	
⑨ その他	7	7	9	9		2	9	9
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)						0		
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	477	1,213	2,711	1,684	471	1,625	1,625
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input type="checkbox"/> 吉川市単独			

目	区分	指標名(上段)		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
		計算式・説明(下段)			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対象指標	①	訪問対象者数		人	650	650	650	650	650
		令和元年12月生まれから令和2年11月生まれの出生数			642	595	604		
活動指標	①	乳児家庭訪問件数		件	618	618	618	552	552
		一年間に出生した乳児家庭を訪問した件数			614	570	517		
成果指標	①	乳児家庭訪問率		%	95	95	95	85	85
		乳児家庭訪問件数/訪問対象者数×100			96	96	86		
②									



評価年度の主な取組	<p>令和元年12月生まれから令和2年11月生まれの乳児を訪問対象とすることで、生後4か月までの訪問実施状況を4月から1年間で評価している。</p> <p>専任の母子保健支援員が活動の中心であるが、産前から特定妊婦として把握しているケースや、継続支援を要する場合などは地区担当保健師が訪問し、状況に応じて、適切な従事者を選定し支援している。</p>
-----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	乳児家庭全戸訪問ガイドラインに基づき、生後4か月になるまでの乳児と保護者に対し、専門職による訪問を実施。親の孤立にも積極的に働きかけ、個性に応じた支援を行うことで、育児不安を軽減できる。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	<p>▲活動 ●成果</p>
		活動指標	83.66% ★★★★ 概ね達成された	① 乳児家庭訪問件数 (増加目標指標)	99.35% ★★★★ 概ね達成された	92.23% ★★★★ 概ね達成された	
	成果指標	90.11% ★★★★ 概ね達成された	① 乳児家庭訪問率 (増加目標指標)	100.63% ★★★★★ 達成された	100.84% ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	早期から切れ目ない支援が可能となり、育児不安の高まる時期に、個々に応じた情報提供や保健指導を行うことで、子どもの健やかな成長につながるため、上位施策への貢献度は高い。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
価効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度	<p>変動率</p>	
		135.82% 増加している 9,310.89 円	乳児家庭訪問件数 活動指標を単位として換算 単位: 円/件	105.44% 若干増加している 5,667.94 円	120.95% 増加している 6,855.28 円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	法的根拠に準じた子育て支援、虐待予防など、行政に期待される重要な役割を担うものであり、受益者負担を求める余地はない。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	市民課と連携し、出生届の機会にも出生連絡票の提出を勧奨してもらうことで、対象家庭の把握と早期支援に努めている。令和元年度より、子育て世代包括支援センター業務の専任支援員も雇用し、地区担当保健師とも連携しながら充実した支援体制の下、対面形式にこだわらず、電話等多様な手段を活用し支援を実施している。				
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	<table border="1"> <tr> <th>リスク(マイナス要素)</th> <th>機会(プラス要素)</th> </tr> <tr> <td>新型コロナウイルス感染症の拡大を不安視し、母子の孤立化が懸念される。</td> <td>虐待予防対策の一環として児童福祉部門に相談員が充実し、全戸訪問事業や母子保健事業との連携が促進されている。</td> </tr> </table>	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)	新型コロナウイルス感染症の拡大を不安視し、母子の孤立化が懸念される。	虐待予防対策の一環として児童福祉部門に相談員が充実し、全戸訪問事業や母子保健事業との連携が促進されている。
	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)				
新型コロナウイルス感染症の拡大を不安視し、母子の孤立化が懸念される。	虐待予防対策の一環として児童福祉部門に相談員が充実し、全戸訪問事業や母子保健事業との連携が促進されている。					
行財政改革大綱との関連(点検・確認)	貴重な訪問等相談機会を、保護者に有効に活用していただくために、専門職の雇用を継続する。					

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	互英久	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明	母子保健事業・関係機関と連携のもと、継続実施。			
	二次評価日	令和3年6月23日			

基 本 本 事 項	事務事業名	子育て世代包括支援センター運営事業			所管部署名	健康長寿部 健康増進課 母子保健係			
	事業期間	平成29年度 ~ 未設定	事業年齢	3歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	小林 以津己	
	基本 との 計画 関係	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		根拠法令等	児童福祉法、母子保健法			
	ま ち づ く り 目 標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり(健康福祉部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務			
	施 策	第2節 未来を育む児童福祉の推進			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度			
	施 策 小 項 目	(2)子どもの健やかな成長の支援			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
	実 施 計 画 の 位 置 付 け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		予 算 科 目	会計区分	一般会計			
	市 ま ち ・ ひ と ・ し こ ど 創 生 総 合 戦 略 と の 関 連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	基本目標1『子どもの笑顔と活気でまちを満たす』			款	項	衛生費 保健衛生費	
	個 別 計 画 の 位 置 付 け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	目	細目	母子衛生費		母子保健事業		
	目 的	対象 (誰を、何を)	全ての妊産婦・子育て世代			手 段 (ど の よ う な 事 業 を 行 う の か)	保健師等が専門的な見地から相談支援等を実施し、妊娠期から子育て期に渡るまでの切れ目ない支援を提供する。		
	対象年齢	00	99	全年齢					
意 図 (対 象 に ど の よ う な 状 態 に な っ て ほ し い の か)	相談支援体制を整備し、様々なニーズに対応することにより、母子の健康保持及び増進を図ることができる。								
類 似 事 業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	母子保健事業			業務プロセス (No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	30520501	母子健康手帳の交付	
前 年 度 事 務 事 業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	403304					30520609	妊産婦・新生児訪問	

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
投 入 コ ス ト	① 事業費	2,268	3,674	1,316	543	△ 3,131	198	198
	② 人件費	388	309	3,582	3,709	3,399	4,007	4,007
	正職員投入人員	0.05人	0.04人	0.04人	0.06人	0.02人	0.06人	0.06人
	正職員人件費	388	309	316	454	145	454	454
	会計年度任用職員人件費			3,266	3,254	3,254	3,553	3,553
③ 間接経費(加算)						0		
④ コスト対象外(除外)						0		
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	2,657	3,983	4,898	4,252	268	4,205	4,205	
資 源	⑥ 国庫支出金	743	965	1,114	1,675	710	1,236	1,236
	国補助率	1/3	1/3	1/3	1/3		1/3	1/3
	⑦ 県支出金	1,501	965	1,114	1,117	152	1,236	1,236
	県補助率	1/3	1/3	1/3	1/3		1/3	1/3
	⑧ 市債						0	
⑨ その他	8	7	8	9	2	9	9	
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)						0		
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C 吉川市年間負担経費(A-B)	405	2,046	2,662	1,451	△ 596	1,724	1,724	
D 補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助	<input checked="" type="checkbox"/> 一部補助	<input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり	<input type="checkbox"/> 吉川市単独				

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
標 設 定	① 妊娠届出数	件	670	670	670	670	670
	一年間の妊娠届出数		604	609	554		
	② 訪問対象者数	人	650	650	650	650	650
	令和元年12月生まれから令和2年11月生まれの出生数		642	595	604		
活 動 指 標	① 情報提供者数	人	1,320	1,320	1,320	1,320	1,320
	妊娠・子育てに関する情報を提供した人数		1,246	1,204	1,158		
	②						
実 績	① 専門非常勤職員従事期間	月	12	12	12	12	12
	専門非常勤職員を雇用した期間		0	12	12		
	②						



評価年度の主な取組	1 令和元年度から専任の母子保健支援員を配置し、きめ細やかな支援が実施できるよう、面接等で使用する様式を整備し情報の収集を行い、個別支援計画を作成した。
	2 妊娠の届出を行った全ての妊婦の方を対象に面接を実施し、養育にリスクを抱える家庭を早期に把握するとともに関係機関と連携を図り、適切な支援・介入を行った。

事業性	区分		評価結果	判断理由(特記事項)			
	性	対象・手段		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	妊娠初期から子育て期において、それぞれの段階に対応した支援を、母子保健活動と連動して充実させている。全数の親子に対する一義的な相談窓口として状況を把握する手段に相応しい機能である。		
意図			<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討				
役割分担(行政関与)			<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	母子保健法に設置を求められている機能であり、母子の健康保持増進に関わる重要な事業である。			
業	有効性	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	87.73% ★★★★ 概ね達成された	① 情報提供者数 (増加目標指標)	94.39% ★★★★ 概ね達成された	91.21% ★★★★ 概ね達成された	
	成果指標	100.00% ★★★★★ 達成された	① 専門非常勤職員従事期間 (増加目標指標)	★ 達成度がかなり低い	100.00% ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	当事業により、母子保健事業全体の充実が図れることから、上位施策への貢献度は高い。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
価	効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度	変動率
			110.98% 増加している 3,671.71 円	情報提供者数 活動指標を単位として換算 単位：円/人	279.31% 増加している 2,132.03 円	155.18% 増加している 3,308.44 円	
		コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	子育て支援全般に関する重要な役割を、行政として担う事業であり、受益者負担の必要性はない。			
	受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					

改革改善	これまでの改革・改善内容	子育て包括支援センター業務ガイドラインに沿った内容で、個別事例のリスクアセスメントや関係機関連携を機能的に運用している。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 新型コロナウイルス感染症の流行により、医療機関や子育て仲間へのアクセスが困難となり、対策に配慮された場での学びや交流の機会を求めている。	機会(プラス要素) 子育て支援サービスを関係機関と連携して提供することで、それぞれの強みを生かし、市民の活用度拡大に貢献できている。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	様々なサービスの機会を、保護者に有効に活用していただくために、専門職の雇用を継続する。	

事業(一次評価)	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	互英久	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明	ポピュレーションアプローチに始まり、地区担当保健師や関係機関と連携したハイリスクアプローチまで、充実した体制を維持する。			
	二次評価日	令和3年6月23日			